



かがやけ

南っ子

「学校便り 1月」

発行者

糸満南小学校

校長 島 史生

謹賀新年🌱令和3年のスタートです!



明けましておめでとうございます。1月6日に3学期がスタートし、子供たちも元気に登校してきました。始業式では児童を代表して4年生2名が2学期の思い出と、3学期の抱負を発表してくれました。校長からは、3学期に頑張っ欲しい「あいうえお」(あいさつ、いじめをしない、うんどう、えいよう、おべんきょう)について話しました。さて、コロナの収束が見通せない中で新年を迎えました。これからの教育活動も例年とは違った様々な対応が求められています。ポストコロナを念頭に学校作りを行っていきます。今後も保護者のご理解とご協力をお願いします。

校内書き初め会

正月の雰囲気が残る中、「校内書き初め会」を

1月7日に実施しました。低学年は教室で硬筆を中高学年はオープンスペースや体育館で毛筆を使い集中して取り組んでいました。今年もこの気持ちを忘れず、勉強やスポーツに取り組んで欲しいと思います。



オンラインによる海洋教育



1月20日に GODAC の職員によるリモート授業が、5年生を対象に行われました。授業の中でこれまでのプラスチックの生産量の9%しかリサイクルされていない事やプラスチックごみの殆どがアジアから出ている事、海洋汚染の影響について知る事が出来ました。子供達から活発な質問もあり、有意義な時間となりました。

地震・津波の防災講演会を行いました

6年生を対象にした「防災講演会」を1日12日に行いました。講師に沖縄大学地域研究所特別研究主任：賀数淳氏を招きました。前半は津波が起きるメカニズムや避難する必要性について説明がありました。後半は、事前に子供たちからあった質問を中心に地震や津波が起きた際の心構えや行動について話がありました。その中で災害時にどのような行動をとるか家族で話し合う重要性を訴えていました。



海洋教育講話

1月21日に6年生を対象にした「海洋教育講話」が行われ、豊崎美らSUNビーチと美々ビーチいとまんを管理している屋良朝仁氏と東恩納一幸氏が講師として来校しました。講話は、ビーチ管理者の仕事内容から始まり、糸満市の観光の現状と将来の展望について説明がありました。最後に子供たちへ地域を知り、地域を愛して住み続ける事で糸満市も発展するとメッセージがありました。



身近な海について調べよう

5年生は1月26日に真栄里海岸で漂着ゴミ調べを行いました。これは、海洋教育の一環として実施したもので、季節外れの暑さの下、子供たちはペアとなり、漂着ゴミを一生懸命探していました。綺麗に見える海岸も様々な漂着ゴミがありました。今回、調べた事から海の環境保全について学習する予定です。

